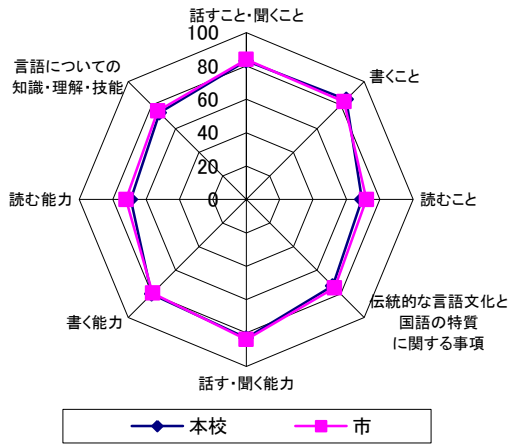


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	83.0	83.9	83.1
	書くこと	84.7	82.9	68.6
	読むこと	69.2	72.0	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.3	74.8	68.7
観点別	話す・聞く能力	83.0	83.9	83.1
	書く能力	80.2	79.3	67.0
	読む能力	69.2	72.0	67.8
	言語についての知識・理解・技能	73.6	75.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、83.0%で市の平均を0.3ポイント下回っている。 ○司会者の工夫を聞き取れることをねらいとした設問においては、市の平均を4.1ポイント上回っている。 ●話の内容を正確に聞き取れるという設問の正答率においては、市の平均と同じだが、話し手の意見に対して自分の考えを述べるという設問においては、市の平均を5.8ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・話の内容を正確に聞き取ることにおいては、9割以上の生徒が正答できているが、聞き取った内容について自分の考えをまとめ、話すことが苦手な生徒もいる。 ・話を聞くことについて話の聞き方のポイントを指導したり、話の内容を理解しようとするだけでなく自分の考えと比較して話す練習を指導するなどの工夫をしていく。
書くこと	平均正答率は、84.7%で市の平均を1.8ポイント上回っている。 ○自分の立場を明確に書くことをねらいとした設問においては、市の平均を2.1ポイント上回っている。 ●指定された文字数で書くことという設問において、市の平均を1.8ポイント下回っている。	・三段落構成で書くという設問において、市の平均を上回っており、自分の立場を明確にしながら、段落構成をふまえて書くことができる力を身につけてきている。 ・自分の考えをまとめ、それを言葉で表現することに時間がかかる生徒が多いので、授業で100字程度の短作文の練習をしたり、時間制限を設けてある程度の長さの文章を書く練習をしたりするなどの工夫をしていく。
読むこと	平均正答率は、69.2%で市の平均を2.8ポイント下回っている。 ○文学的文章で登場人物の心情をとらえるという設問において、市の平均を5.1ポイント上回っている。 ●説明文の読解で書き手の論理の展開の仕方を的確に理解するという設問において、市の平均を3.8ポイント下回っている。	・この領域は、市の平均との差が他の領域に比べて比較的大きい。 ・文学的文章において人物の心情をとらえたり表現の特徴をとらえたりすることは得意だが、説明的文章を読むことに抵抗が大きい生徒もいるので、頻出語に注目したり、キーワードやキーセンテンスを探すなど、読解の指針を示した学習プリントを作成し、意欲的に読めるように指導を工夫していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、73.3%で市の平均を1.5ポイント下回っている。 ○小学校で学習した漢字を書く問題では、4問中3問が市の平均を上回っており、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題でも、8.6ポイント市の平均を上回っている。 ●助動詞についての設問では、0.2ポイント市の平均を下回っている。また、中学校で学習した漢字の読みの問題の中に市の平均を2.7ポイント下回っているものがある。	・授業の初めに、定期的に漢字テストを行っているので、生徒は漢字を書いて覚えることにあまり抵抗がなく、定着も図られつつある。中学校で学習した漢字で読めないものがある生徒もいるので、繰り返し学習させ、定着度を向上させたい。 ・文法については、よりわかりやすい説明を心がけ、練習問題を解いて理解を深めることができるようにするなど、意欲的に学習に臨めるような工夫をしていく。